

補助資料

越智秀二「西日本豪雨災害を受けた広島の現地報告 ——災害時の地域での科学者の役割」
カラー図画



図1 福田地区の位置
土砂災害ポータルひろしま²⁾に加筆



写真1 鷹の条山から見た福田地区

阿武山付近が2014年に甚大な土石流災害が起きた地域⁴⁾。写真右の木ノ宗山(地質はホルンフェルスで、角礫と粘土分の多い土砂からなる崖錐を形成する)では今回土石流は発生しなかったが、2014年のような雨では甚大な土石流災害の発生の可能性が高い。

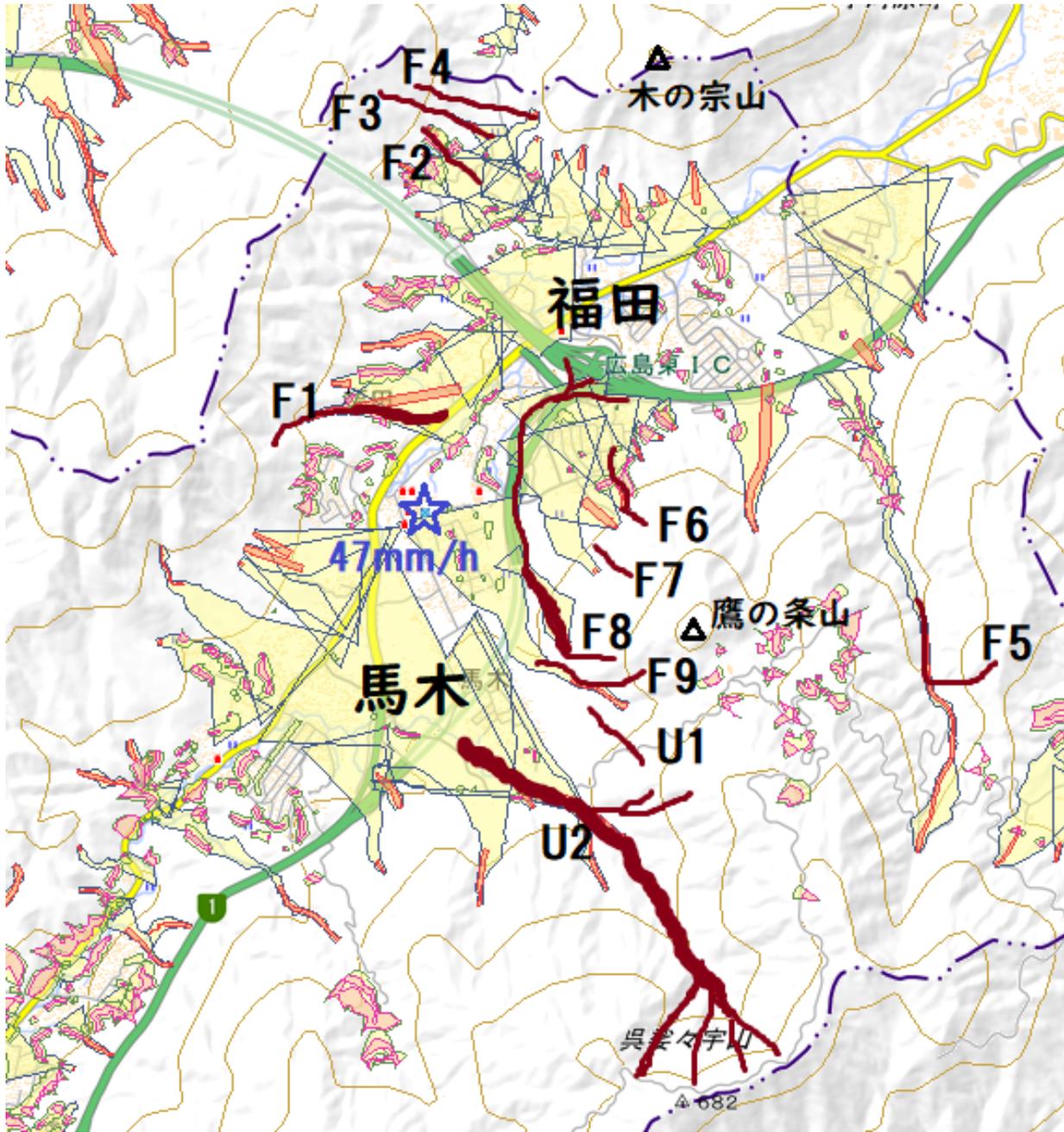


図2 馬木・福田周辺の土砂災害警戒区域等と土石流

馬木・福田周辺では、至る所にイエローゾーンとレッドゾーンが分布。F1～F9, U1 と U2 はそれぞれ福田と馬木で発生した土石流。☆：広島県の雨量計（7月6日18時-19時に47 mmを記録）³⁾ イエローゾーン：土砂災害のおそれがある警戒避難体制の整備をすべき区域 レッドゾーン：建物や人命に甚大な被害が生ずるおそれがある区域で開発行為や建築物に規制等がかかる区域、土砂災害ポータルひろしま²⁾より



写真2 土石流（F1）の発生前後の様子

上が7月3日に撮影したもの（下の写真の丸印付近）、下が7月11日に撮影したもの。下の写真では多数の巨礫が認められることから、過去にこの場所に土石流が出たことがわかる。今回の災害で現実になった。写真の左の斜面（右岸側）には直径1mを越える大小様々な巨礫が堆積しており、この付近が土石流堆積物による扇状地になっていることがわかる。



写真3 土石流（F6）の発生前後の様子

上が7月3日撮影。下は7月7日撮影。谷にあったはずの杉の木が根こそぎなくなっている。

A: 谷の中にあつた杉 B, C: 被災後にも残った杉

J: 土石流で出た花崗岩の巨礫 H: 土石流で倒れた杉。

上が7月3日撮影。下は7月7日撮影。





写真 4 担当した S 施設上側の駐車場の翌朝の様子

土石流危険渓流に指定されている谷から濁流が流れ、駐車場は半分以上土砂等で埋まり、駐車場ののり面は一部崩壊した。



写真 5 上条団地の土石流の源頭部直下の様子

勾配 45～55 度で落差約 100 m. ひび割れが入った不安定な土砂が残っている様子を確認。正面の山は木の宗山。